

できる・できる・できる

申 校訓：「自主・友愛・飛躍」

令和5年10月16日

No. 37 (第165号)

長崎市立戸町中学校

文責 校長 大橋 功

<https://www.nagasaki-city.ed.jp/tomachi-j/>

真心こもる圧巻の歌声に涙！

先週12日と13日の2日間に渡り、長崎ブリックホールで、第73回長崎市中学校連合音楽会が開催されました。37校から約1600名の中学生が参加し、合唱や合奏。そして、吹奏楽等の演奏の出演がありました。



本校は、3年生全員で参加し、2日目午後の出番でした。1曲目は合唱コンクールで歌った「大地讃頌」。2曲目は初披露の「正解」を熱唱しました。

3年生の歌声は保護者のみなさまもご承知の通り、素晴らしい歌声です。合唱コンクール終了後は、加藤先生の指導がありつつも、終盤は生徒たちが主体的に練習し、自ら歌い込み、磨きをかけていきました。

そして当日本番。生徒たちの表情はとても明るく、笑顔で登場しました。余裕と言うことではなく、まさ

に、音楽を楽しむといったワクワクの笑顔です。

結果は、“親の欲目”ではありませんが、会場には溢れんばかりの大きな拍手が響き渡り、生徒たちが退場し終えるまで鳴りやむことはありませんでした。

他校の先生方から、「戸町中の生徒たちはようまとまっとるね！」や、ALTの先生からは「delicious(デリシャス)」等と楽しいお褒めの言葉をたくさん頂きました。3年生の真心こもる歌声に、目頭が熱くなり、心の底から感動しました。

一部ですが、会場での様子を写真でお届けします。



3年生の歌声をお聞きになりませんか？

明日17日(火)に3年生による「正解」を後輩たちに披露します。保護者の方もお時間がありましたら、ぜひ、お越しください。場所は本校体育館。時間は12時25分頃(7分程度)を予定しています。

心の種

今回のテーマは「覚醒」です。

出演した中学校に温かい拍手をおくり、会場が一体となった連合音楽会。生徒たちは、出演や各学校の鑑賞を通して、音を楽しむとともに、多くの感動と学びがあったようです。また、それこそが、生徒たちの心をふるわせる音楽の魅力であり、不思議な力なのかもしれません。私がもう一つ感動したのは、出番終了後、会場に戻ってきた時のやり遂げた喜びと自信に満ちた表情です。まさに、“覚醒”したかの如く、生徒たちの内面的な成長を感じました。(^o^) /

【お詫び】学校だよりNo. 36の“心の種”のコーナーで、松尾 伊織くんの名前を「松本」と紹介しておりました。たいへん申し訳ありませんでした。

